

難波田城跡（難波田氏館跡）は、中世に富士見市を本拠として活躍した難波田氏の城跡跡で、埼玉県旧跡に指定される市内の代表的な遺跡の一つである。

富士見市では、この歴史的遺産を後世に伝えと共に、市民の郷土学習や交流、憩いの場として活用するために整備を行い、平成12年6月に「難波田公園」として開園した。約17,200m²の公園内は、敷地中央の難波田城資料館を挟み、東側が城跡を復元整備した「城跡ゾーン」、西側が市内の古民家を移築復元した「古民家ゾーン」となっており、富士見市の歴史を総合的に理解し、学習できる施設となっている。

整備にあたっては、園内に田や畑を整備し、古民家も昔の生活体験などに活用できるようにしたり、簡単な煮炊きができる厨房施設を併設するなど、体験、参加型の施設とした。また、水堀内のスイレンやハナショウウブをはじめ、四季折々の花が楽しめるような植栽を心掛けた。

整備後は、市民ボランティア組織である市民学芸員が園内案内ガイド、

企画展示や主催事業のサポートなどを実施し、来園者から好評を得ており、開園後1年間で市内外から10万人来園し、市のイメージアップにつながっている。



難波田城公園全景



資料館特別展示室を利用した市民ギャラリー
展示室の貸し出し期間は1カ月以内としている。希望者が多く申し込みが絶えない



旧金子家住宅
武蔵野の農家の典型ともいえる茅葺きの民家である（市指定有形文化財）



DATA-5

- ① 埼玉県富士見市下南畑568-1
- ② 東武東上線志木駅東口東武バス富士見高校行き、興禅寺入口バス停下車徒歩3分もしくは下南畑行き、終点下車徒歩10分
東武東上線鶴瀬駅西口より市内循環バス富士見高校行き、終点下車10分
- ③ ・水子貝塚公園 ・水子貝塚資料館
- ④ 難波田城公園祭り、お月見映画会、郷土芸能のつどい、ふるさと体験事業（もちつき、田植え・稲刈り、竹かごづくり、機織り、古民家宿泊体験、団子づくり、漬け物づくり、草餅づくり等）
- ⑤ 富士見市資料館 TEL 0492-53-4664

① 所在地 ② 現地への交通 ③ 近隣の観光地、施設など ④ 関連するイベント・行事・祭りなど ⑤ 担当部局・連絡先